



事例紹介

コヅカテクノ株式会社



名古屋市のコヅカテクノ(株)はプラスチック射出金型のスペシャリストとして環境に配慮しながら世界品質の金型を提供します。

町工場だからこそできる“コツコツ改善”で会社成長と脱炭素を両立

CN取組の内容

- **ISO14001 (2007年認証取得) を活用したCO₂排出量の見える化からスタート**
 - ・省エネによるコスト削減、利益向上を主眼に開始。当社のエネルギー使用量の約9割は電気由来であり、工場・設備の節電対策を軸に対策。
- **工場改善や老朽化設備の更新等を通じた節電の取組**
 - ・電気使用量の分析から省エネ必要箇所（老朽化したコンプレッサー）を特定。これらの集約、更新とともに、エネルギー効率も意識した運用見直しも行うことで電気代を大幅に削減。
 - ・従業員の意見を積極的に取り入れ、遮光、遮熱、断熱等の工場環境改善を実施。
 - ・電灯のLED化や自家発電の太陽光設備設置などは、社長始め自社社員でできる部分は自ら行うことで経費を節減。
- **当初目標であった電気使用量60%削減 (2019年度比) を前倒しで達成**
 - ・引き続き個別設備の断熱改修、空調設備更新等の取組により2030年度までに70%削減を目指す。

ここがポイント

町工場だからこそできる“コツコツ改善”

- ・「脱炭素＝経費削減＝経営体制強化」
- ・他社の事例を参考にしつつ、できる限り出費を抑えながら、できるところから節電に取り組む。継続することで大きな効果を生み出すことが可能。

社長のリーダーシップと社員一丸となった取組

- ・社長自らが率先して取組をスタートするとともに、取組の効果や目標を社内で共有。
- ・トップ自らが考え、判断、行動することを大事にしている。電気使用量のチェックも社長自ら行っており、社長の意識が高まることで社員の意識向上にもつながっている。

会社の成長と脱炭素の両立

- ・各種取組を通じて、9年間で年間1,500万円の電気代を削減。昨今のエネルギー価格高騰においてもエネルギーコストを大幅に削減し、より“稼げる”経営体制へ。
- ・削減した電気代で省エネ投資を回収、さらに浮いた分で従業員の研修費用など自社の成長投資に充当。
- ・主要取引先からは2年連続でカーボンニュートラル活動貢献賞を受賞。「CNといえばコヅカテクノ」と評価される存在に。

